

『<sup>わ</sup>環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成20年11月4日		
		作成部署	建設交通部 河川課		
事業名	総合流域防災事業	地区名	京丹後市網野町浅茂川～網野地内		
概算事業費	75億円（整備計画）	事業期間	昭和53年～平成47年		
事業概要	過去に浸水被害が発生しており、流下能力が低いことから河床掘削、築堤による改修を行う。（L=5.1km、支川含む）				
目指すべき環境像	当該河川は山間部を抜け、日本海にそそぐ河川であり、沿川には田園地帯が広がるなど景観にも恵まれた地域である。しかし、下流部には京丹後市（旧網野町）の市街地が広がっており、過去からたびたび氾濫を繰り返している。したがって、河川環境・景観に配慮し、早急な河川整備が必要である。				
関連する公共事業	特になし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化（CO <sub>2</sub> 排出量等）	—	本河川はコシなどの湿性植物の群落が見られ、瀬や淵が形成されている。苗代井堰上流の湛水域に希少なマハゼ、スミウキゴリ等、多種の魚類が生息している。	堤防法面部に植生を施すことにより多様な動植物が生息・生育する河川環境の保全を図る。井堰改築には魚道の設置を行い、魚類等の移動経路を確保する。	—
	地形・地質	○			3
	物質循環（土砂移動）	○			3
	野生生物・絶滅危惧種	○			4
	生態系	○			4
	その他	—			—
生活環境	ユニバーサルデザイン	—	当該河川は過去からたびたび浸水被害が発生しており、特に内水被害が発生していることから、河川改修を実施し、地域生活環境改善に努める必要がある。	河川改修の実施により、浸水被害の解消が期待できる。材に発生土を活用しコスト削減を図る。住宅に隣接している箇所工事においては、低騒音・低震動型の建設機械採用する。	—
	水環境・水循環	○			4
	大気環境	—			—
	土壌・地盤環境	○			3
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル	○			4
	化学物質・粉じん等	—			—
	電磁波・電波・日照	—			—
	その他	—			—
地域個性・文化環境	景観	○	当該河川はリバーウォッシング等のイベントが行われており、河川を利用した自然環境とのふれあいの場として利用されている。地域住民が親しみやすい河川環境の創出が必要である。	堤防法面部は2割の緩行配の土羽構造とし自然植生の再生に努め、水際の生息環境を河川の自然な営みにより再生し、緑豊かな河川景観の創出を行う。	4
	里山の保全	—			—
	地域の文化資産	—			—
	伝統的行祭事	—			—
	地域住民との協働	○			3
	その他	—			—